



「Japan Venture Awards 2009」 の起業支援家部門を受賞!



今年度の創業・ベンチャーフォーラムが1月20日東京国際フォーラムにて開催され、VEC関西支部経由で応募された進藤幸男氏の日頃のご活躍内容について評価され、多数の応募の中から栄えある「起業支援家部門・奨励賞」を受賞されました。
ご本人から受賞に関してお聞きしましたので要約いたします。

★今までどういいうご活動をされましたか。

大手企業での営業経験を活かし、中小企業のために尽力したいという強い思いから、当初は「一人ビジネス」として開始しました。年間200回もの異業種交流会、勉強会等や企業OBを中心とした数々のネットワークを組織化し、また公的機関と連携した活動も検討中です。

現在16団体の運営にも携わっており、「日本営業道連盟」では師範として営業マンの育成と教育活動を行っています。

★当日の表彰式はどんな内容でしたか。

会場は熱気ムンムンで、すごい数の入場者でした。またメディアの皆さんも多数来ておられ、関心の高さを物語っていました。

★皆様へのアドバイスをお願いします。

支援の仕事は、それを受ける人と一緒になって同じ目線で方法や行動することが大事です。
教えてやるといふスタンスでは関係が続きません。

★今後のご活躍や目標を教えてください。

大阪駅前ビル事務所での無料相談継続、財団法人等を設立し農業ビジネスの支援、大学や各種団体向けのセミナー等を通じ、世の中に役立つお手伝いや啓蒙活動をして行きたいと思えます。そしてハツラツとして夢と希望をもった若い人やシニアが増えることを願うものです。

表彰を受けられた方
特定非営利活動法人
商縁プラザ
運営委員 進藤幸男氏



『アタック よもやま話』

—その2—

前回、この欄で我々の組織ATAC（アタック）を紹介させていただきました。ATACとは企業の技術系定年退職者がその知識や経験を生かして中堅・中小企業の技術支援をする集団の名称です。

現在、26名が活躍し、北は北海道から南は沖縄まで飛び回り、・・・と言っていたものが最近では東はカナダから西は中国までと言ひ換えています。
驚くでしょうがカナダの企業の日本出張所からの依頼で、メンバーがトロントまで飛んでいって品質管理の指導をさせていただきました。

中国の場合は、関西の企業の工場が中国に展開している場合で、2社からの依頼でした。
こうして毎日、中堅・中小企業のために駆け回り回っています。これは確かに健康にいいようです。

日本のモノづくり企業の実に98パーセントが中堅・中小企業と言われています。従って日本の立つ道は何といても、モノづくりの中堅・中小企業を確固たる発展の道に押し上げなければなりません。

我々ATACのメンバーはこのことをしっかりと認識して日夜コンサルディングに取り組んでいます

ところで、私もほぼ毎日のようにこれら中堅・中小企業の経営者の方々とお話しする機会が多いのですが、経営者のスタ

イルにある種の傾向を感じます。

先日の中京の3社を回りました。いずれも経済産業省の“元気なものづくり中小企業300社”に選定された実績を持つ素晴らしい企業です。

ところが判で押し付けたように経営者が饒舌なのです。いずれも先代の築いたものを更に発展させた2代目か3代目なのですが、元気のいいこと、自己のPRにまぎ立て板の熱気で、こつちが話し出す機会を全く与えられません。物静かなのですが、何とか相手に訴えたいとの思いがこの饒舌を生んでいるのでしょう。

関西の元気のいい中小企業の経営者の方々にもこの傾向がまま認められます。ある場合には創業者が副達で会長として頑張りすぎ、後継者である現在の社長の存在が周囲から疎まれてしまっているケースもしばしば見受けられます。

真のよき経営者は聞き上手の筈です。そのほうが自分の主張を必要以上にPRするよりも、得をする情報が入ってくることの価値が大きいのです。

相手の意見に真摯に耳を傾け、相手の意見を聞きだすことに巧みでありて欲しいものです。聞き上手というのはそう簡単ではありませんが、真のよき経営者としての素質のひとつとして訓練をして欲しいと思うことがよく見受けられます。
《以上》

(財) 大阪科学技術センター
ATAC運営委員長 梶原孝生

白浜のアドベンチャーワールド知っていますか？

私は、昨年の8月より、アドベンチャーワールドでお世話になっております。当園は、昨年の4月で開園30周年を迎え毎年多数の方がご来園されております。

JRで天王寺ー白浜間、特急で約2時間、車では大阪市内から高速道路（阪和道）が南紀田辺まで出来上がっており、吹田JCTから当園まで約2時間半の距離に位置しております。東京からでは、JALで（毎日3便）羽田ー南紀白浜間 約70分のフライトです。

当園は、海の動物・陸の動物・遊園地が備わった世界でも数少ない、全世代の方が楽しめる体験型テーマパークです。驚くような運動能力を持ちトレナーとの素晴らしいうライプを披露しているイルカの仲間達、日本一の繁殖数を誇るチーター、8種類の繁殖に成功したペンギン類、ジャイアントパンダ（現在7頭）の他にも様々な動物（145種 1550頭羽）に会うことができます。



（2008年12月17日撮影）

アドベンチャーワールドで

なぜそんなに多くパンダの繁殖に成功するのか？とよく聞かれるのですが、それは白浜の環境がパンダに適していること、紀伊半島の豊かな森林を源に、澄んだ空気、ミネラル豊富な水、良質の竹がパンダの食住を保証しこれらすべてが繁殖に成功した原因かと思われまます。

「人間と動物と自然とのふれあい」を永遠のテーマとし、これからも来園されるお客様に動物の魅力・すばらしさ・感動以上の感動を与え伝えていくことを使命にしています。是非一度御来園下さい。

株式会社 アワーズ アドベンチャーワールド
営業部 芝田正義



◆ 台湾の結婚式に行ってきました!! (その2)

それにしても、250人くらいが入れるスペースに日本と同じようにテーブルが埋め尽くされており、「普通の 레스토랑で食事」の想像を超える華やかさ。新郎新婦に聞くと、台湾では300人くらい呼ぶのが相場らしいけれど、新婦側の親戚が日本からあまり来れないから、合計250人くらいになり規模は小さいうちに入るとのこと。新郎の友人が15人くらい、新郎の会社の上司や同僚が30~40人、あとは、新郎も会った事のない母の従兄弟の家族など、かなり遠い新郎側の親戚も呼んでいるとのこと。新婦も、私たちもびっくりしたのは、新郎の会社の得意先の人の子供たちも来ていたことです。めでたいことは、誰でもいいから、みんなでお祝いしたらしいじゃないかという考えなのではないでしょうか。招待状は出すけれど出欠はとらず、飛び入りで参加してもOKらしく、料理も少し多めに用意しているようです。日本とは違って、1人1人に食事が運ばれるのではなく、中華テーブルに料理が運ばれ、そのテーブルを10人程度で囲んで回しながら取り分けるスタイルなので人数が減ったり増えたりしても特に問題はないようです。

会場の豪華さに次に驚いたことは、出席者の服装です。「しまった…」と思い、立ちすくんでしまったくらい、日本人の私たち2人は浮いていました。ほとんどもが普段着。新郎新婦のアメリカ留学時代のメキシコ人、韓国人、アメリカ人の友人たちは、日本人ほどあれこれ着飾ってはいないけれど、台湾人ほど普段着ではないきれいな服装で座っており、日本の披露宴のように席礼はなかったため、私たち日本人もそのテーブルに着席し、異国種なテーブルとなりました。

会場内の端の方に、赤い台帳と赤い封筒が山積みになっていて、赤いコーナードアがありましたが、それがお祝儀のようで、赤い包みで渡すのが台湾や中国では一般的で、お祝儀は大体日本

円で6千円から1万円くらいが相場とのこと。突然現れたおじさんが、小さな台湾語で、異国種のテーブルでは、意味を理解できずとも早口の台湾語で、異国種のテーブルでは、意味を理解できるはずもなく、パーティーがスタート。



（筆者 右側）

後で新郎新婦に尋ねると、親戚のおじさんらしく、2人の馴れ初め等を紹介していただいたようです。そのまま大皿で食事が運ばれ団欒の開始。中華テーブルをクルクル回しながら、おいしい台湾料理をいただきました。

大きなロブスターや、フカヒレスープ、北京ダックのようなものなど、どれもボリューム満点で食事に夢中になってしまいました。

石田 千代



★ VECレポーターが行く!! 今も並ばなかん? ~「堂島ロール」

行列のできるお店「堂島ロール」の近況をウォッチングしてきました。（お店の名前は「モンシユシュ」で若い綺麗な女性オーナーです）

不況の中でも衰え知らずのスイーツ!!やはり女性、特に主婦たちの間で人気になると広まっていくのも早いようです。堂島ロールもTV番組のお土産として紹介されあつとと言う間に大人気となったケーキです。

初めてお店に行つたときは長蛇の列でびっくり!それでも頑張って並びました。食べてみて並ぶのも納得です。平日にもかかわらず、並ぶ人達の中にはスーツ姿のサラリーマン男性が多くいました。一人で3本4本と買う人、女性たちへ3時のおやつでしょうか。

ちょっとしたきかけで、人気店になる可能性はあるのでしょうか、やはり人を魅了する商品づくりや仕掛けなど経営者はすごい努力と工夫をされていると思います。

人気店になったら経営者は嬉しい悲鳴かもしれません、働いているパティシエエたちは朝早くから夜遅くまで寝不足のうれしい?悲鳴を上げていると言っていることも覚えておきたいものなのです。

最後に「並ばずに買える方法」

いろいろ考えてみました。やはり予約が一番!堂島ロールの場合1本からでも予約が出来ます。受取り当日の追加購入は並ばなくてもOK!でした。あのふんわり感、思い出したら食べたくなりました。

~VEC関西より~

◆ 国際太陽電池展を見に、東京ビッグサイトに行ってきました。凄いい熱気で、大企業や中小企業。皆明日に向かって大行進です。ペンチャーも未来のエネルギードジネスに参入するのは“今”ですぞ。（本田）

◆ 私的ですが4月から実生活に役立つ勉強をテーマに女性の有志で「サークル」を開始しようとして今スタツプで意気込んでいます。活動により女性の個性を十分に発揮してメンバーの皆さんが何かの発見をして頂きたいと思っております。皆様の応援よろしくお願ひします。（濱本）

◆ 全くの異業種へ就かれまして芝田様からアドベンチャーワールドの魅力をご紹介いただきました。先日受賞されました進藤様と共に今後のご活躍を期待いたします。（澤村）

◆ 〈交流会予定〉
4月9日（木） 大阪コミュニケーション・ツーリズム推進連絡協議会

<課外交流会> チーフプロデューサー

4月27日（月） 三井住友海上火災保険株式会社 茶谷 幸治 様

大阪中央支店 京橋第一支社

インシュアランス コンサルタント

脇本 裕正 様

